

一枚の写真

一枚の写真をいただいた
今まで見たこともない姿
これは私自身なのか
口を開け痴ほう症にかかったような表情
背景には冷え冷えとした霜をかぶったサザンカの絵
正真正銘、わたし自身の姿
こんな哀れな一面を私は持っていたのだ
元気そのものと思い
今まで考えもしなかった
ただ最近では坐骨神経痛や視力は極端に衰え
糖尿病で通院もしている
だからと言って衰えたとは思っていなかった
しかし現実には写真に写っている、その姿は
明らかに衰えを感じさせる私自身なのだ
私は笑って哀れな姿だと吹聴する
後期高齢者とか加齢とか老衰とか
歳を重ねるごとに言われるだろう
悲しいかなこれが現実
私は少しずつだが
それを認め心構えをしなければならないと
一枚の写真が教えてくれた